

2022年1月12日

JR西日本不動産開発株式会社

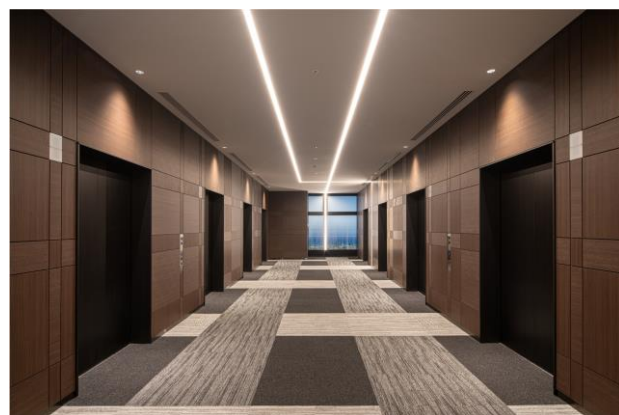
## 新大阪第2NKビル 開業について

～ アフターコロナの期待に応えるオフィスビルを開業 ～

JR西日本不動産開発株式会社（本社：大阪市北区中之島二丁目2番7号 代表取締役社長：國廣 敏彦）は開発を進めておりました新大阪第2NKビルにつきまして、1月7日に開業しましたことをご知らせいたします。

JR西日本グループでは、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」という「めざす未来」はコロナ禍以降も変わらないものと考え、その未来の実現に向け取り組みを進めています。新大阪駅は東海道、山陽新幹線が発着する関西の玄関口であり、今後北陸新幹線やなにわ筋線、リニア新幹線の乗り入れが計画されるなど、更なる発展が見込まれます。本物件は新大阪エリアにおいて約10年ぶりの大型オフィスビルであり、「めざす未来」の価値観に沿いつつBCP対応や感染症対策など、アフターコロナの期待に応える充実した仕様を盛り込んだオフィスビルとして開業を迎えました。

人々が交錯・交流し、新たな笑顔を生む空間  
感染症対策を含めた、安全・安心して集える建物  
快適性と両立した、未来につながる社会・環境への取り組み



## 人々が交錯・交流し、新たな笑顔を生む空間

- 多様な働き方に対応するラウンジや貸会議室



ラウンジ

- 地域とつながるテラス席のある飲食店舗



計画中イメージ

上記の他

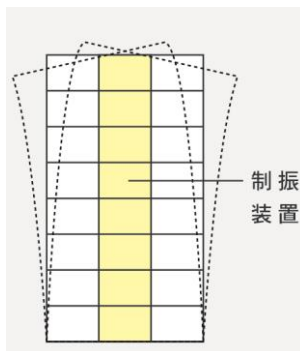
- 1フロア最大約455坪（最小約37坪）と、多様なレイアウトに対応可能な大空間の貸室
- バリアフリーやジェンダーレスに配慮しただれでもトイレを各階2か所に設置

## 感染症対策を含めた、安全・安心して集える建物

- 非接触EVボタン、抗ウイルス等の感染症対策



- 制振装置により大地震時の揺れを約25%低減



上記の他

- 重要設備の浸水対策、2回線受電、非常用発電機設置
- 備蓄倉庫等を活用し防災備蓄品を各階に保管（携帯トイレ、ヘルメット、多機能ラジオ等）

## 快適性と両立した、未来につながる社会・環境への取り組み

- RE100にも対応する実質的CO<sub>2</sub>フリー電気を100%採用  
電気から排出されるCO<sub>2</sub>を実質的にゼロにし地球温暖化防止に貢献。  
再生可能エネルギーの活用をアピールすることにより、環境に配慮する企業価値向上に寄与。
- CASBEE-スマートウェルネスオフィス 最高位Sランク認証  
建物利用者の健康性、快適性の維持・増進を支援する建物の仕様、性能、取組みを評価する認証。  
最高位のSランクは全国17棟目、大阪府下2棟目の取得。
- SDGsへの対応



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



- 目標3：非接触・抗菌・換気等の感染症対策と、だれでもトイレを各階に配置。
- 目標7：実質的CO<sub>2</sub>フリー電気の100%採用、負荷別制御が可能な空調ゾーニング、窓際の熱負荷を抑制する簡易エアフロー機能を採用。
- 目標8：ゆとりあるエントランス、ラウンジ・貸会議室を配し、多様な働き方をサポート。
- 目標11：街路樹等を配した緑あふれる公開空地で地域に潤いを提供。
- 目標13：大地震や浸水被害を想定した電気・水道のバックアップ計画と防災備蓄品による非常時対応。

JR西日本グループでは、社会変容に対応した新しいライフスタイル「鉄道のある暮らし」の取り組みの一つとして、ワークプレイスネットワークの構築に取り組んでおります。当社では今春に本物件と類似の仕様を備えた、「新大阪第3NKビル」の開業を予定しています。これらオフィスを含め、今後も多様な開発を推進するとともに、魅力あふれる街づくりを通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。

